

授業科目名	生命・医療倫理学II (Medical Ethics)		
対象学年	4年生	単位	1単位
科目責任者	ひのい たかお 檜井 孝夫	所属	遺伝子診療科
授業方法	講義中心、グループ討論		
概要	医師になる者にとって倫理的側面の必須な知識と考え方を学ぶ。		
到達目標	医療と医学における倫理の重要性を理解するために、具体的な医学・医療における倫理的な問題を指摘すると同時にそれらを解決する能力を身につける。		
講義日程	第1回 オリエンテーション 檜井 第2・3回 出生前診断・着床前診断についてのワークショップ 山崎・阿部 第4・5回 医療過誤問題 弁護士の視点から 医師の視点から 酒井・岸本 第6回 やさしい日本語 蓮沼 第7・8回 EBM総論 ワークショップ 南郷・蓮沼		
評価項目	授業への参加態度、グループ討論の態度 レポートの内容、課題の提出		
評価法	提出したレポートの内容で評価する。医師となるのに必要な素養を見に付けるための授業であるので、録画の視聴を含めて、原則、全授業を出席することを単位認定の条件とする。出席は授業内で行う出席アンケートで確認する。		
履修上の注意 アドバイス	学外からの非常勤講師の授業が多いので、礼儀には気を付けること。 医学生としての姿勢を問う授業であるので、積極的に取り組むこと。		
予習・復習への アドバイス	生命医療倫理学は、医師になるために必須の素養を身につけるための授業である。興味と気概を持って授業に臨むこと。授業で学んだ内容について、自らネットを使って、知識を補充することが望ましい		
推奨参考書	特になし 毎回の授業の講義プリント Teams、moodleの授業資料		